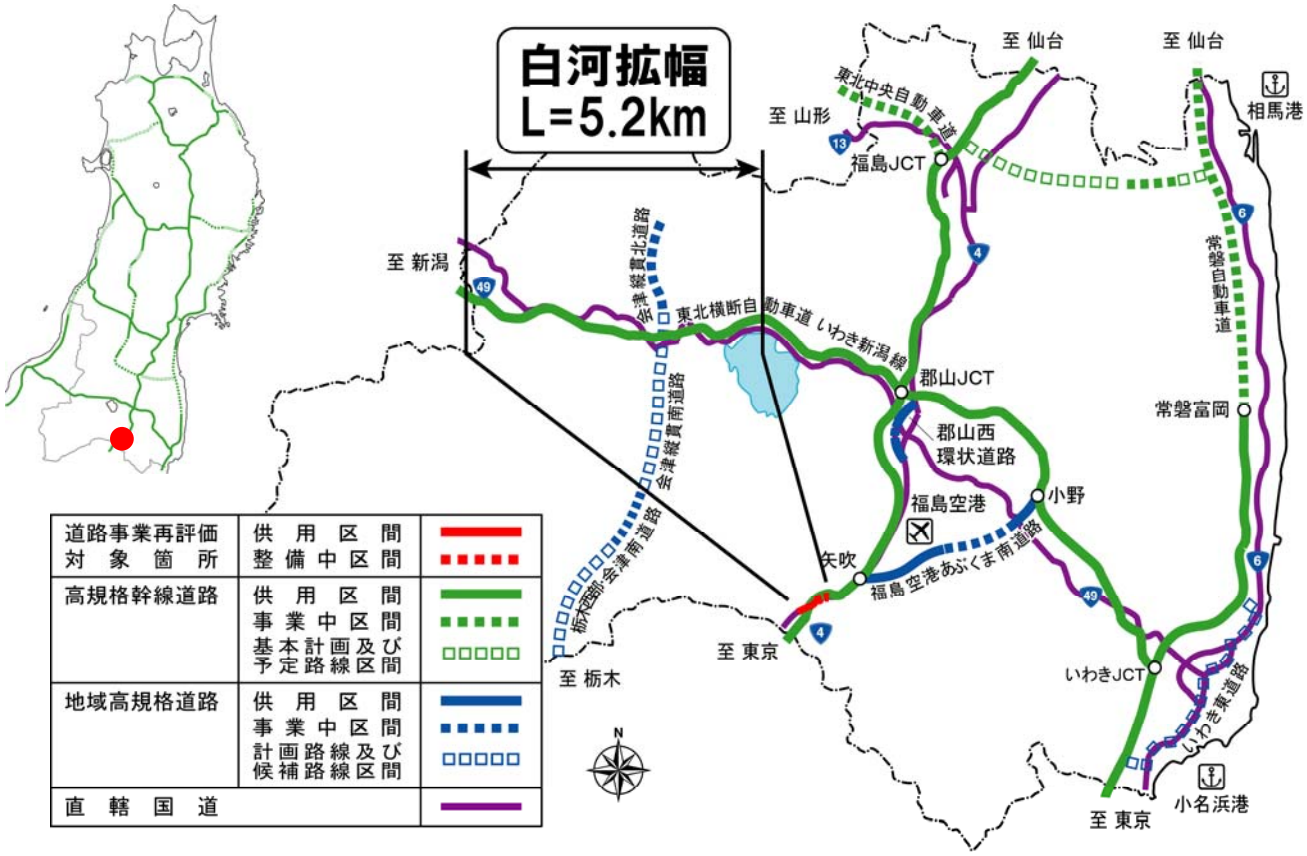
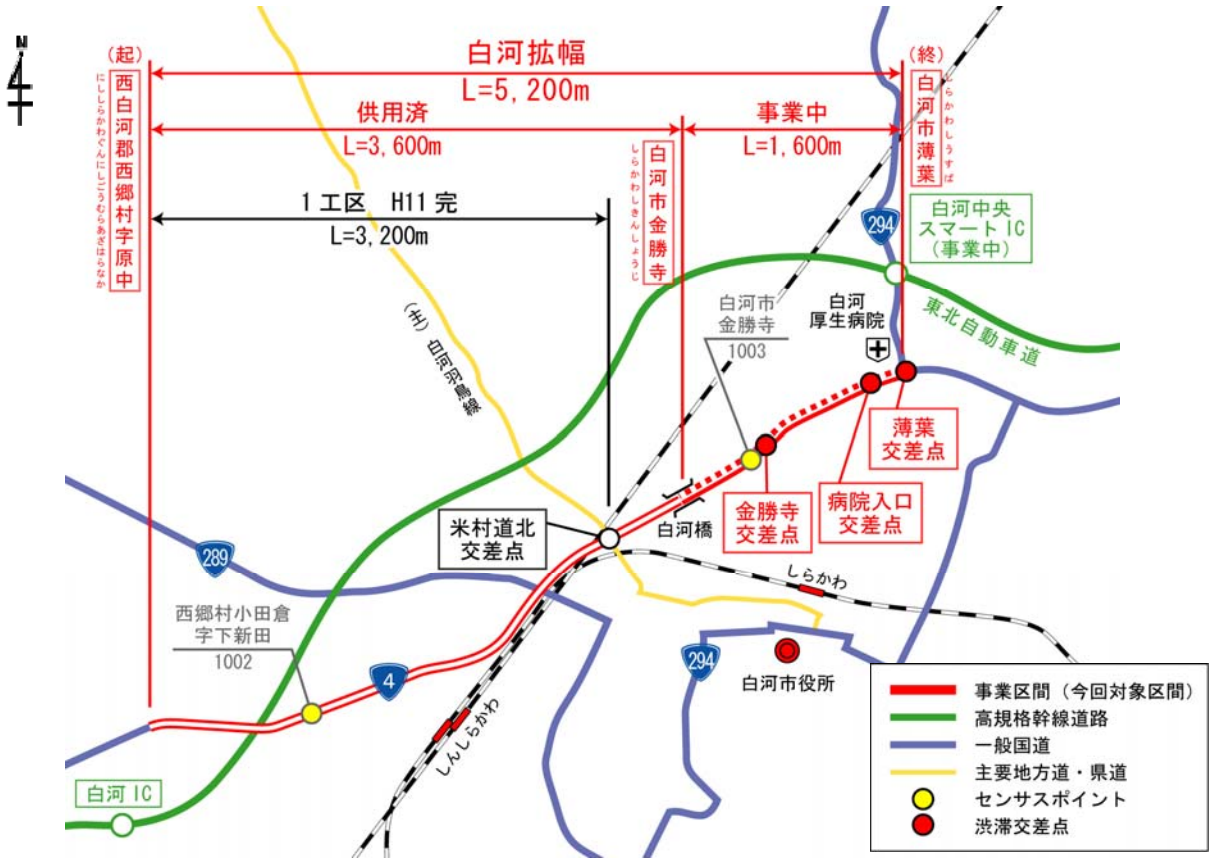
一般国道4号　白河（しらかわ）拡幅



1

事　業　実　施　状　況



2

一般国道4号　白河（しらかわ）拡幅

【評価要件：事業採択後10年経過】

○ 事業の目的

・国道4号における交通混雑の緩和
・安全な交通の確保
・救急医療サービスの向上　等

○ 延　　長　：　L=5．2km
○ 事　業　費　：（完成）148億円
○ 事　業　化　：　昭和48年度
○ 進　捗　率　：（完成）74%

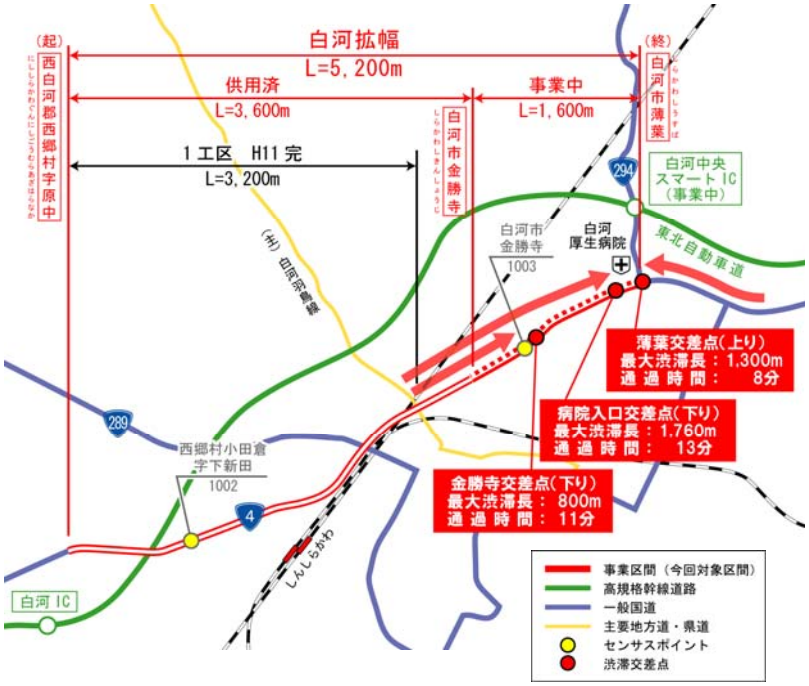
事　業　経　緯

・白河拡幅の事業（１工区）はS48からであるが、当該工区はH11に供用済
・現在事業中の２工区において、H12から事業延伸し、事業実施中



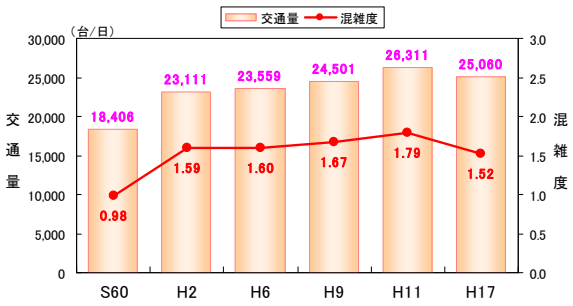
国道4号の道路状況

・事業中区間に渋滞交差点が多数存在（金勝寺交差点、病院入口交差点、薄葉交差点）



※最大渋滞長および通過時間は、H21.5.11（月）観測

▼国道4号（白河市金勝寺）
の交通量及び混雑度の推移
（センサスNo.1003）



資料：各年次道路交通センサス

部分供用の効果

・渋滞ポイント（米村道北交差点）が緩和（渋滞長800m・通過時間5分→105m・1分）
・昭和62年度より順次拡幅を行い混雑が解消（混雑度　1.3（S60）→ 0.6（H17））

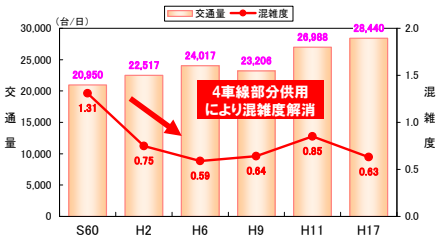


▼米村道北交差点の状況

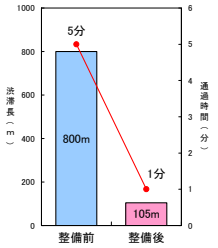




▼交通量と混雑度の変化
（地点A）



▼渋滞状況の変化
（米村道北交差点）

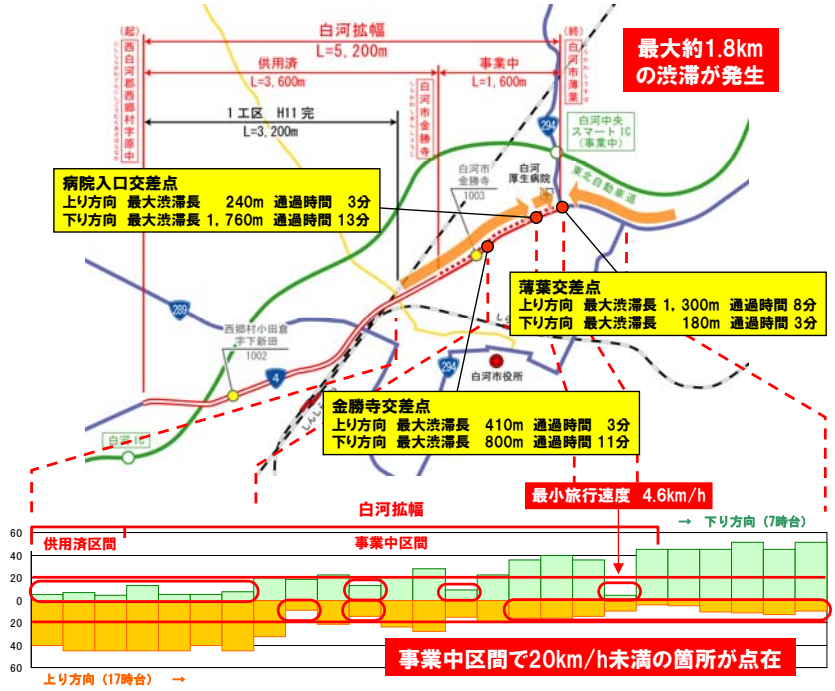


資料：各年次道路交通センサス　　※整備前…H14調査　　整備後…H19.7.3調査

円滑かつ安全な交通の確保

・当該区間における旅行速度の低下、金勝寺交差点･病院入口交差点･薄葉交差点での混雑を解消し、主要幹線道路としての機能回復を図る

▼渋滞長･旅行速度の状況



資料：H21. 5. 11観測プローブカー調査結果

▼当該区間の道路混雑状況
（金勝寺交差点付近）



（白河橋付近）

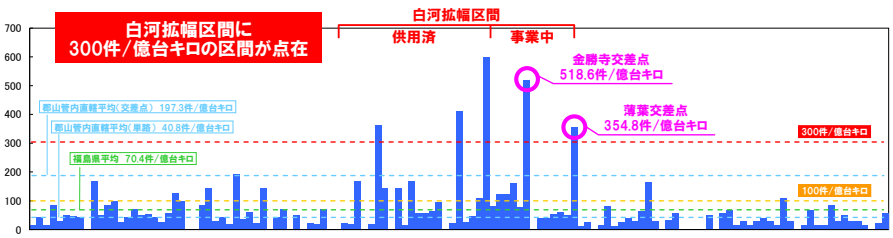


7

交通事故の軽減による安全性確保

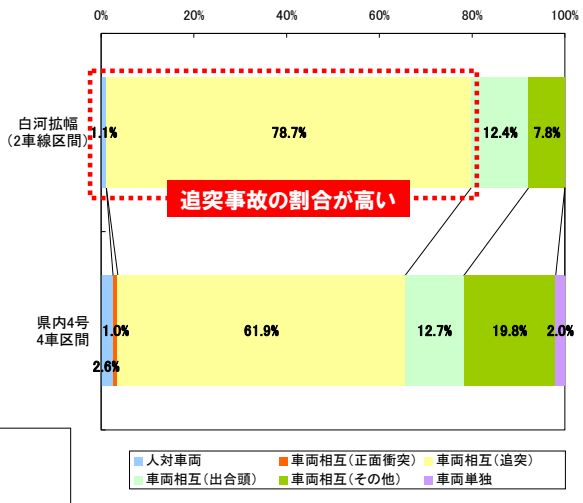
・300件/億台キロを超える死傷事故率の区間や混雑による追突事故の軽減を図る





資料：H16-19イタルダデータ

▼区間別死傷事故率
（H16-19イタルダ区間）



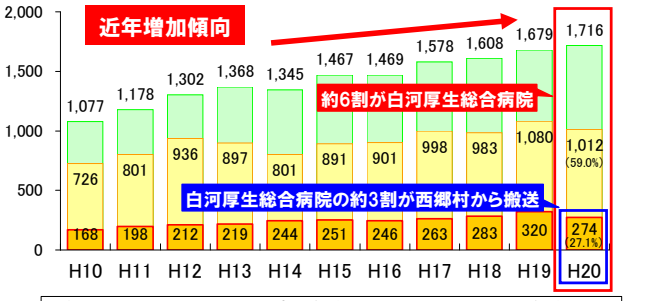
資料：交通事故総合データベース（H16-19）

8

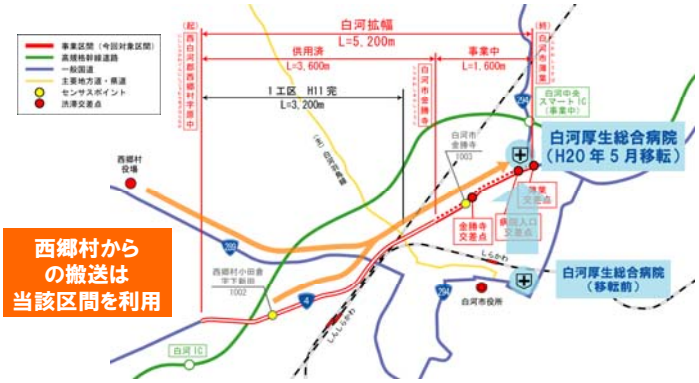
地域救急医療の支援

・地域の救急医療にとって重要な拠点である白河厚生総合病院へのアクセス強化を図る

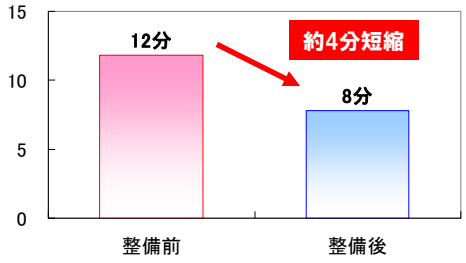
▼白河地区の救急搬送状況



※白河消防署西郷分署内からの搬送件数　　資料：白河地方広域市町村圏消防本部

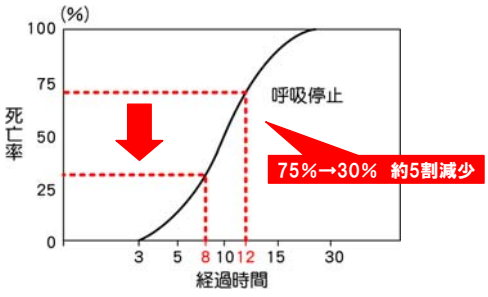


▼救急搬送時間の変化
（西郷村役場→白河厚生総合病院）



資料：H17道路交通センサス
（白河拡幅2車区間の整備前はプローブカー調査結果、
整備後は60km/hとして計算）

▼カーラー曲線



9

事　業　の　投　資　効　果

○費用便益比（B／C）
※下表の数値は、基準年（平成21年）における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

費用C（現在価値）	37億円
便益B（現在価値）	147億円
費用便益比　B／C	3．9

計画交通量（平成42年度）
・白河拡幅＝31，600台/日

10

供用予定等今後の事業の見通し

・白河市金勝寺～白河市薄葉間（L=1.6km）については、平成20年代中頃の4車線化を目標に事業推進を図る



11

対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。

・国道4号における交通混雑の緩和

・安全な交通の確保

・救急医療サービスの向上　等

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施

12